

## マイナ「一度使えば理解できる」 ■世の中ゼロリスクはない

河野太郎デジタル相は12日の会見で、岸田文雄首相が健康保険証廃止とマイナンバーカードとの一本化の前提とした「国民の不安払拭」はできたのかと問われ、「イデオロギー的に反対する方は、いつまでたっても『不妥だ』『不満だ』とおっしゃるだろうから、それでは物事が進まない」などと不安を感じる國民がイテオロギーで批判しているかのような暴言を吐きました。

時事通信の9月の世論調査では、マイナンバー制度をめぐるトラブル

に關する政府対応を「評価しない」が54・6%で、「評価する」の20・1%を大きく上回りました。医療機関などの窓口で健康保険証と一本化したマイナンバーカードで保険資格を確認する利用率は6カ月連続で減少し、10月は4・49%までに落ち込んでしまいます。

河野氏は「(マイナンバーカードを)一度使つていただくなじみやすさを理解できる」などと、『一度使べ』の一点張りです。

この間のマイナンバーカード制度をめぐる相次ぐトラブルは、国が最も守るべき国民の個人情報をずさん扱い、財界の意向に沿ってマイナンバーカードの普及を急ぎ、その結果発生した失敗を失敗と認めない岸田政権の横暴な態度が起きた人災にほかなりません。

河野デジタル相 暴言止まらない

(森泰輔)